

令和4年度第2回関市環境審議会 会議録

◆日 時：令和4年11月21日（月）14:00～16:00

◆場 所：関市役所 6階 6-2会議室

◆出席者及び欠席者 《敬称略》

（1）出席者：田中 耕、平田和雄、清水道隆、宮部英門、各務剛児、鳥本勝則
早川貞子、中嶋 亘、藤井遼斗、加納由香里

（2）欠席者：津田格、水野友有、井上好章、多田幸泰、野田哲貴、裁裕子

（3）事務局：津谷典男（市民環境部長）、後藤英矢（環境課長）、神戸功
西部祐司、小椋かおり

（4）傍聴者：なし

1. 開会

【事務局】

本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻になりましたので、これより関市環境審議会を始めさせていただきます。

従来は、関市民憲章のご唱和をお願いしておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、ご唱和は省略させていただきます。なお、関市民憲章はお手元に配付してございます次第の裏面でございますのでご覧ください。

関市環境審議会規則第3条第1項の規定には「審議会の会議は、委員の半数以上の出席をもって成立する」とありますことから、本日ご出席の委員数は10名でございますので、委員の半数以上が出席となり、本日の会議が成立したことをご確認させていただきます。

それでは、津谷市民環境部長からご挨拶を申し上げます。

2. 部長あいさつ

〈津谷市民環境部長のあいさつ〉

3. 諮問

〈津谷部長から田中会長へ諮問書の提出〉

【事務局】

ありがとうございました。

本審議会の議長は、慣例によりまして会長が行うこととなっておりますことから、これより会議の進行を会長にお願いしたいと思います。

会長さん、よろしく願いいたします。

【田中会長】

本日の会議は、配布してあります次第のとおり、先ほど諮問を受けました「第二期関市環境基本計画策定」の素案について、皆様方よりご意見をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、事務局より、素案の内容についてご説明いたします。

4. 審議事項

1) 第二期関市環境基本計画策定に係る素案について

- 第1章 環境基本計画の策定について
- 第2章 関市を取り巻く環境に関する動向
- 第3章 計画の基本的な考え方
- 第4章 施策の展開
- 第5章 重点施策

<事務局及び株創建が資料に基づき第1章から第3章までを説明>

第二期関市環境基本計画（案）、資料1 第二期関市環境基本計画概要

【田中会長】

ありがとうございました。
委員の方、ご意見ございませんか。

【平田委員】

今回の策定の一番のポイントは何になるのか？今までとの違いは？

【事務局】

今回の一番のポイントは基本目標Ⅰのカーボンニュートラルの部分になります。今までも取組としてはあったが、その部分を抜き出して基本目標の一つ「脱炭素を目指すまち」とした。

【田中会長】

2050年までにカーボンニュートラルを目指すことになっているが、環境基本計画は2042年までだが、2050年を目指して2042年までにどうするかという認識でいいのか？

【事務局】

第二期で終わりといことではなく、その後も三次計画、四次計画と継続していく中で補足していく。

【田中会長】

関市は自然環境という面で、ホテルの生育環境を整えているので、関市の特徴的なことと

してホテルに関する内容があってもいいと思います。

【事務局】

次の章の内容となりますが、基本目標Ⅱの自然とのふれあいづくりの中に自然観察会、ホテル観察会について入れさせていただいております。

【加納委員】

前回の審議会で出た意見に対して、どのように取り込めた、取り込めなかったか要点の説明が欲しい。その上で納得できる部分があると思う。

また事前送付された資料と、当日差し替えとなった資料はどの部分の訂正があったか？

【事務局】

資料を送付後に再度内容確認したら、誤字脱字や項目の番号等の誤り等の軽微な訂正箇所が多く見つかったため、訂正箇所一覧ではなく差し替えとさせていただきました。

施策の展開について等の大きな部分での変更点は特にありません。

【加納委員】

大きな変更はなく、誤字脱字等の訂正で見やすくしたということですね。

この会議の直前になりますが、COP27という国際会議があり、日本は三回連続で化石賞を受賞している。これは日本が環境に対して後ろ向きであることを揶揄されている。

今回の資料についても、前回審議会からの変更点が見られなく化石を感じる。

【事務局】

前回の審議会では、体系についての提案をして今後の進め方を説明している。今回は庁内の担当課に各取組についての照会をして、取組内容の修正や削除や新規取組の追加といった反映をさせている。

今回追加されていない具体的な取組についても、今後も検討していく。

前回の審議会でも日程的に厳しいから市民会議やアンケートの実施は難しいと思うが、市民から広く意見を募集する方法を検討してはどうかという意見が出ております。

あんしんメールを利用して、環境基本計画策定にあたり環境に関する意見を募集しましたが、身近な環境に関するお困りごととしての意見が多かった。数件ではあるが、具体的な取組についての感想や提案があったので、今後の取組を進めていく中で担当課に伝えていきたい。

【中嶋委員】

カーボンニュートラルと言っているが、関市の状況がどのくらいなのか市民は全く分かっていなと思う。

市民の身近な内容となっていないので、ピンとこないと思う。関市としてのオリジナルの

ものにしてもらいたい。

【事務局】

カーボンニュートラルについては、現時点では排出量等がまだ分かっていない。現在進行中であるため、今後入れていきたい。

【早川委員】

関市は近年、耕作放棄地が増えている。特にやれなくなっている高齢者が増えている。

農業、農地を総合的に計画していかないと、農業地域に無計画に家が建ってきたりして道路整備も難しくなっていると思う。

【事務局】

総合計画があり、そこに紐づけして他の部分もついていく形になるため、今回の意見についても加味していく必要があるかと思えます。

【加納委員】

第 2 章の国の基本的な動向に新型コロナウイルス感染症対策を発端として新たなライフスタイルへの転換とあるが、どういったことか？

【事務局】

今後もコロナウイルスがなくなることはない、環境対策としても意識して取り組む必要があると考える。

【加納委員】

新型コロナウイルスに限らず、感染症がなくなることはない。敢えてここで入れ込む必要はない。感染症対策よりも環境対策のほうが上位と考える。20 年間の計画の中では過去の遺物となってくると思うので、もっと具体的に環境と関連する内容ならいいと思う。

【事務局】

20 年の計画ということを考えるとおっしゃることも理解できますので、検討します。

【田中会長】

国の動向ということで、COP27についても検討してもらえるといいかと思えます。

【事務局】

作成時とずれがありますので、最新の状況についても加味していくことを検討したいと思えます。

【田中会長】

ここまでの部分ではよろしかったでしょうか？

それでは第 4 章について、事務局から説明をお願いします。

<事務局及び樹創建が資料に基づき第 4 章を説明>

【田中会長】

ありがとうございました。

委員の方、ご意見ございませんか。

【中嶋委員】

取組内容について、もう少し細かく具体的にしてもらいたい。

市民の取組にポイ捨てしませんとありますが、市外から来た人が捨てている。

雨水の利用についても、どういった取組なのか細かくアピールが必要

あと、ホテルについても明記してもらいたい。

【事務局】

計画なので、あまり細かく書きすぎず、実際に施行していく中で具体的な取組について考えて実行していくという進め方になります。

【田中会長】

目標、スローガンのものを盛り込むということであって具体的な取組については別ということですね。

【事務局】

具体的な取組については各課で取り組むことになるので、各課に対して目標を投げかけて具体的な取組について考えていただくことになる。

【平田委員】

取組についてどの課が取組かも明記してもらえると分かりやすい。

【事務局】

令和 2 年度の審議会において、どこの課が取り組んでいるが分かるという意見があったことを受け、令和 3 年度の審議会での進捗状況の報告において具体的な取組についての担当課を記載するようにしている。計画においては課の記載をしていない。

【鳥本委員】

一つ入れてもらいたいワードがあります、曾代用水が世界かんがい施設遺産に平成 27 年

に登録され、平成 28 年に現天皇が皇太子時代に訪問されているので、ぜひ入れてもらいたい。

ぎふクリーン農業の推進についての記載があるが、新たな認定はしていない。

あと、GAP についての記載もあるが、何の GAP を目指すのか。また、クリーン農業の説明と同じことになるので、使い分けを考える必要がある。

バイオマス資源としての活用の中に下水道等汚泥のたい肥化とあるが、下水道だと重金属が入っており農地に使用できない。農業集落排水なら重金属が入っていないので、表現方法を検討したらどうか。

【田中会長】

先ほど、耕作放棄地についての話もありましたが、どうでしょうか？

【鳥本委員】

関市に関しては、中山間地域になってくるとどんどん荒廃している。集積集約して儲かる農業をする必要がある。そうなると用排水の整備等の工事が必要となってくる。

上之保、板取とかになると整備しても儲からない状況になる。何かいい農作物がないかということで上之保だとゆず、洞戸ではキウイといった J A のバックアップしてもらっているがなかなか難しい。

中山間地域は国の補助金が多くつくが、なんとか維持する程度が精いっぱいという状態。

【事務局】

クリーン農業や下水道等汚泥については、担当課に確認して訂正していきたい。

【加納委員】

有機農業の推進についても取り込んで欲しい。とれた広場のモニターをしており、消費者のアンケートを見ると安全安心な無農薬の野菜が欲しいという意見があるので、反映して欲しい。

環境への負荷が大きい除草剤、殺虫剤がホームセンターでも購入できるが環境に対して影響が大きいため生物多様性にも関わってくる。一般的には販売されているため、良くない理由を分からないため、計画に入れ込んで欲しい。

【事務局】

農薬に関しては国の承認があり、安全性を確認している禁止されていないという解釈となるため、計画には入れることはできない。

【鳥本委員】

今年の 7 月にみどりの食料システム法が施行されている。その中で有機農業、化学肥料についての指標がある。

【事務局】

担当課に確認します。

【田中会長】

関市はモネの池が有名だが、そのことは入れ込めないのか？

【事務局】

モネの池は有名であるし水も綺麗だが、人工的に作られたもので、少し意図が違う。

【平田委員】

施策の方針3に緑あふれるまちづくりとあるが、公園を整備することはいいが、その後の草刈り等をどう考えているのか。

先日、せきテラスでは観光課と環境課がボランティアでゴミ拾いをしてもらったので、とてもいいことだと思うが、それを維持していくことをどう考えているか。

【事務局】

公園の維持管理については、都市公園については地元の人に管理してもらい、必要経費を支払う半分ボランティアに近い方法で協力してもらっている。協力いただけない公園については業者に委託している。管理については担当課が他にもいい方法がないか検討していると思う。

ボランティアのゴミ拾いについては、毎年5月30日にごみゼロの日として自治会に実施してもらおうようお願いしているが、もっと推進していければと考えています。

【平田委員】

各務原市の河川や道路では、業者がきれいにしている。維持していくことは大変、関市の河川の法面では業者に委託してきれいに維持できているのか。

アダプトプログラムで町内の人にしてもらう方法とかもあるが、上手く活用できているのか。

【事務局】

計画の中で、アダプトプログラムについて触れてはいますが、限られた予算で維持していくことを考えるとボランティア等に頼る部分も必要かと思っています。

河川の草刈りについては、年に一回自治会で河川清掃により草刈りを実施しております。

河川の管理者については県ですので、今後の管理方法については県とも協議していくことが必要であると考えております。

【田中会長】

河川の話に関連しますが、岐阜県は清流長良川と表現している。関市の計画においても清流長良川と表記することを検討してはどうか。

【各務委員】

学校における環境教育推進について、小中学生に対してゼロカーボンについて分かりやすく伝える授業を設けてみてはどうか

カーボンニュートラルの目的、どうしたらいいかを子供たちに理解してもらい将来に繋げるといい。

生ごみの排出量について、剪定枝・雑草については燃えるゴミの袋に入れて捨てているのが現状。燃やすのではなく、粉碎して活用できる方法を考えてもらいたい。

【事務局】

環境教育については必要だと考えている。学校対象ではないが、夏休みに親子向けのセミナーを開催した。また、関高校の生徒を対象にカーボンニュートラルに関する研修を実施した。

今後も進めていきたいと思っている。

剪定については、以前各務原が取り組んでいたが経緯は不明だがやめたと聞いているが、事例研究をして検討できればと考えています。

【各務委員】

バイオマス発電の施設で集めることができればいいと思う。

【田中会長】

焼却すると二酸化炭素が発生するので、粉碎する機械を貸し出すなどの方法を考えてもらえるといいと思います。

【事務局】

小枝粉碎機の購入に対する補助制度はありますが、それを利用して肥料にしているかどうかは不明です。

【鳥本委員】

粉碎機に対しての補助もいいですが、林業の新規の担い手がないことが一番の問題。機械の補助があることはいいが、担い手を育てることが先決かと思います。

【事務局】

補助については家庭用の補助で、林業従事者のための補助ではないです。

【加納委員】

先日、給食センターを訪問した。黙食をするようになってから残食が増えていると聞いた。給食から出た生ごみをたい肥化するなどで有効活用できればいいと思う。

また、生ごみたい肥化に対する補助として、ダンボールコンポストの販売があるが、そういった補助の実績を重点施策の現状、目標として示していただきたい。

【事務局】

給食センターの生ごみについては、担当に確認したいと思います。

【田中会長】

ここまでの部分ではよろしかったでしょうか？

それでは第5章について、事務局から説明をお願いします。

<事務局及び㈱創建が資料に基づき第5章を説明>

【田中会長】

ありがとうございました。

委員の方、ご意見ございませんか。

【清水委員】

鳥に関してですが、板取の株杉の駐車場に生息している鳥の看板があるので、みなさんに知っていただけたと思います。

【事務局】

鳥や魚の写真の看板等についてはすぐにはできないと思うが、担当課に伝えたい。

【宮部委員】

住宅については国の補助が出ているので分かりやすく記載がありいい。市の状況が違うと思うが、本巢市は太陽光設置に高額な補助がある。

ゼロカーボンシティ宣言をしたが、この計画からはあまり意気込みが感じられないので、住宅に対する補助を充実すると若い子育て世代も助かるし、移住に関してもいいかと思う。

産業からの二酸化炭素の排出が多いと思うが、産業系の脱炭素に関する取り組みが少ないと感じる。

目標指標の設定にまちづくり通信簿の市民の意識を目標数値にしている項目が多いと感じる。

具体的な指標を設定することが難しい項目もあるが、もう少し何とかできるといい。

【田中会長】

意気込みも必要であると思います、また関市ならではの特色がある計画を意識して作っ

てもらいたい。

【事務局】

関市では今年度から太陽光発電と充電池に対する補助を始めているが、金額的には他市と同じような状況である。今後もう少し検討していけたらと思います。

指標については、温室効果ガス排出量については現在進めている、今後見直しをしていきたい。

【藤井委員】

カワゲラウォッチングは、子供が自然と触れ合い勉強できていいことなので、強調してほしい。

計画は基本目標については賛成するが、関市っぽくないと感じる。

脱炭素については必要であるが、関市の魅力は自然環境なので、目標の順番が違っていると感じる。

【事務局】

脱炭素については、ゼロカーボンシティ宣言をしたことを受け、脱炭素に関することをメインとするため、敢えてこの順番とさせていただいています。

カワゲラウォッチングについては、今の子供は外で遊ぶ機会も減ってきている。安全面での問題を解消できれば、もっと進めていけるのかなと感じています。

【田中会長】

市民が愛着を持てる計画を作ってもらえるといいです。

【中嶋委員】

アクティブシニアで森の幼稚園を実施しており、市外からも見学に来る。

関市は取り組みがとても進んでいて、園児達がとても喜んでいるのもっと積極的にやってもらえるといいと思う。

【事務局】

今年の環境フェアで保育園の出展で、自然の遊びの体験をしてもらいとても好評でした。今後もPRできればと思います。

【加納委員】

かわせみの杜が行っている関市山田で田植え等を子供と体験する取り組みがあります。岐阜県の生態系保全団体支援事業の助成金を利用して立ち上げていると聞いています。

環境に触れる取り組みの場を関市の補助で推進する取り組みをできないか

【事務局】

かわせみの杜の会長は関市環境フェア実行委員の会長をしてもらっている。もっと取り組みをPRしていけるといいと思う。

【加納委員】

学校以外の場で環境と親しめる場が増えてくるといいと思いました。

環境フェアの参加団体の増加が目標になっているが、入場者数を把握できているのか？

いつものわかくさプラザと会場が違い文化会館での開催なので、わかくさプラザに来た人が来場するということがなく、環境に興味がある人のみの来場者だと例年よりも減ったのでは？

【事務局】

入場者の把握はできないため、参加団体数を指標としている。

今回はいろんな企画も検討したこともあり、昨年よりも明らかに多くの来場者でした。

今年はわかくさプラザの改修のため文化会館での開催となったが、好評であったので来年度も文化会館での開催になると思います。

【鳥本委員】

環境学習についてですが、田んぼの学校や広見での二枚貝の調査、田植え体験等を県でも実施している。

指標の一つに公用車におけるやさしい車の指標とあるが、指標としてどうかと思う。

二酸化炭素を吸収するほうを考えるとどうか、エリートツリーについての取り組みを検討してはと思うが、ハードルが高いのでしょうか。関市は森林面積が多いので木を使うということが重要になってくると思う。

【事務局】

脱炭素に関する指標としては、現在具体的な取り組みについて検討している段階であるため具体的な指標を示すことは難しい。

【鳥本委員】

再生可能エネルギーについて太陽光や小水力を実施していく計画はないか？

県の環境基本計画では再生可能エネルギーの比率の目標指標がある。そういった指標があってもいいのでは。

【事務局】

再生可能エネルギーについては現在ポテンシャル等について調査中。

どういった施設にどういった再生可能エネルギーを設置していくかを調査中で、今後の施策に反映させていきたい。

【鳥本委員】

太陽光や小水力についてはクリーンエネルギーではあるが設備を作り最終的には廃棄物になってくるので、トータル的に考えていく必要もあると思うが、難しいのだと思う。

【田中会長】

意見がないようですので、審議事項については終了いたします。

本日の審議内容は関市環境基本条例の規定により、市長に答申することとなっております。答申案につきましては私に一任していただきたいと思いますと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

意義がないようですので、本日の審議内容を答申案としてまとめ、後日市長へ答申させていただきます。

5. その他

次に次第の5 その他としてパブリックコメントの実施について事務局より説明します。

【事務局】

パブリックコメントの実施について、今後のスケジュールについて説明。

【田中会長】

では、本日の議事はすべて終了しましたので、本会議の進行を事務局にお返しします。

【後藤課長】

田中会長をはじめ委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。これにて、令和4年度第2回関市環境審議会を閉会いたします。